

令和6年3月19日

受験生並びに関係各位

長崎県立大学

長崎県立大学一般選抜（後期日程）における不適切な出題と  
その対応について（お詫び）

令和6年3月12日（火）に実施した令和6年度入学者選抜 一般選抜（後期日程）の個別学力検査において、不適切な出題があったことが判明しました。

受験生をはじめ関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

該当する出題は、看護栄養学部栄養健康学科の受験者を対象とした「化学基礎・化学」の問題です。「化学平衡」に関する知識を問う問題において、問題文における条件の提示が不足していました。これは、試験終了後に本学から外部機関へ依頼した試験問題の点検の結果から判明したものです。

これを受け、当該問題については同科目の受験者全員を正答として扱う措置をとることにしました。その上で合否判定を行い、3月21日（木）に合格者を発表する予定です。

本学としては、入学者選抜における問題の作成には細心の注意を払っておりますが、このような不適切な出題があったことを深く反省し、今後の再発の防止に努めてまいります。

【該当する出題の内容】

- ・科目名：化学基礎・化学
- ・対象学科：看護栄養学部栄養健康学科（募集人員6名、受験者数50名）
- ・該当する問題：問題冊子 1ページ〔注意〕及び4ページ 第2問 問4

<該当する問題>

〔注意〕

1. 計算に必要な場合は次の数値を用いなさい。

原子量：H=1.0 C=12 O=16 Na=23 Cl=35.5

気体定数  $R$ ： $8.3 \times 10^3 \text{ Pa} \cdot \text{L}/(\text{mol} \cdot \text{K})$  水のイオン積： $K_w = 1.0 \times 10^{-14} \text{ mol}^2 / \text{L}^2$

第2問 [1]

問4 ある温度で、 $0.50 \text{ mol/L}$  のアンモニア水の電離定数  $K_b$  は  $3.2 \times 10^{-5} \text{ mol/L}$  であった。電離度  $\alpha$  が1より十分小さいとみなせるとして、この温度におけるこのアンモニア水の水素イオン濃度  $[\text{mol/L}]$  を有効数字2桁で答えなさい。解答欄には計算過程も記すこと。

※〔注意〕の水のイオン積の値が、第2問 問4の「ある温度」で成り立っているかどうか不明記されていないため、厳密には水素イオン濃度を求めることができないと判断されます。問4の「ある温度」で〔注意〕の水のイオン積の値が成り立つことを明記するのが適切でした。